

一五二五	大永五年
一五三二、三四	天文中
一五三六	天文五年
一五三九	天文九年
一五四一	天文十年
一五五一	天文二十年
一五五五	天文二十四年
一五六一	永祿四年
一五六五	永祿八年
一五六九	永祿十二年
一五七三	天正元年
一五七三、九一	天正中
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
一五七五	天正三年

真觀中里に延命山徳善院開基。

宥澄千葉寺再興。

六月二十八日大洪水、白鬚の水という。岩崎、橋爪間を泥で埋め、大川は蟹川、佐野

へ直流、和泉の諏訪神社流失。

芦名盛舜、飯豊山先達を祐順とする。

高田の白山神社繪旨を受ける。白山信仰既に厚いか。

伊佐須美神社に奥州二の宮正一位の銘額賜わる。

富田美作守滋実下荒田（宮ノ下）八幡宮修造の棟札あり。

古麻生宝幢院に俊意住む。

軽井沢銀山再開、下荒井に銀山街道の宿場できる。

葦名十六代盛氏岩崎山に築城、翌元亀元年向羽黒に隱居する。

下小松東陽山常徳寺開山。

下米塚観音寺、黙藏王草創。

下小松の北の館に、平田総右エ門住む。

上米塚泉現寺に普門住む。

葦名の臣荒井万五郎上荒井に築城

荒田村を相沢村と呼ぶ、相沢七右エ門盛宗が地頭であった。

熊野神社に宮田という社領をおく。

葦名盛興早逝し、盛氏小田へ戻る。館の観音を円智補修する。